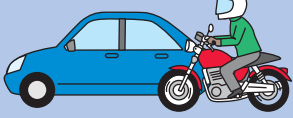


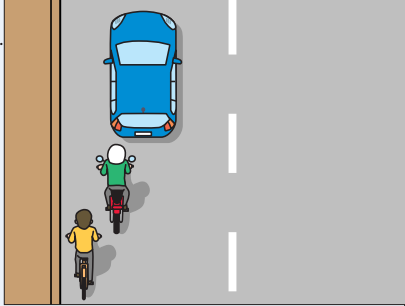
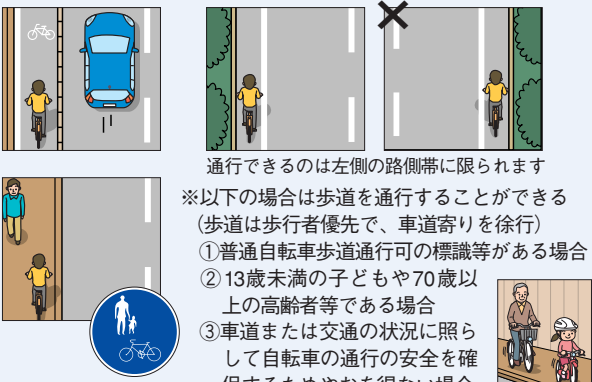
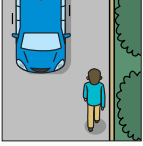
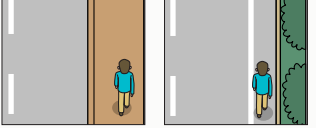





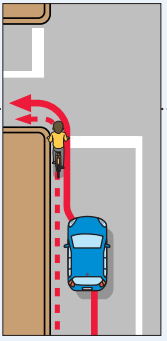
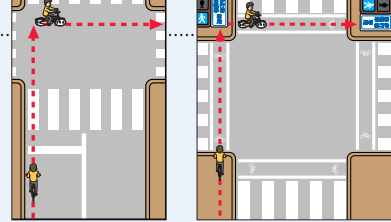
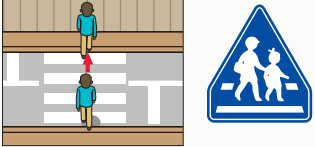
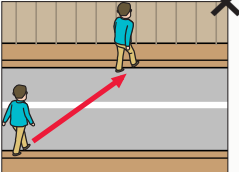
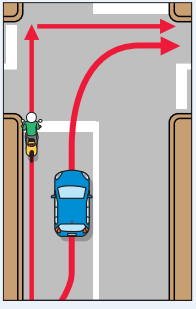
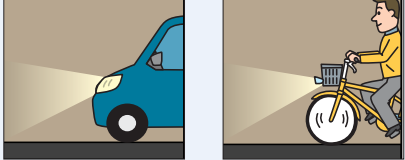
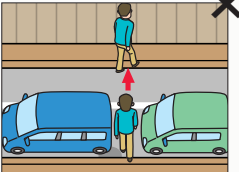


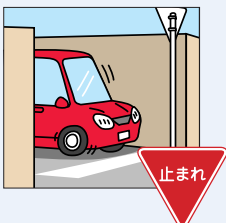

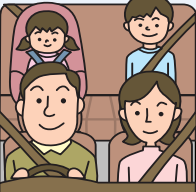





交通ルール比較表

この表はクルマ（四輪車・二輪車）、自転車、歩行者がそれぞれの立場でどのような交通ルール（一部抜粋）を守らなければいけないか、わかりやすく示したものです。特に自転車は車両の仲間であることを認識していただきたいと思います。交通安全指導にご活用ください。
 〈SJホームページ（<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>）ではカラー版がダウンロード（無料）できます〉

	 四輪車／二輪車	 自転車	 歩行者
位置づけ	車両	車両（軽車両）	歩行者
通行方向	左側通行	左側通行（車道）	右側通行
通行する場所	●車道の中央から左側部分 	●車道の中央から左側部分の左側端 ●自転車道 ●路側帯（歩行者用路側帯除く）  ※以下の場合には歩道を通行することができる（歩道は歩行者優先で、車道寄り） ①普通自転車歩道通行可の標識等がある場合 ②13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者等である場合 ③車道または交通の状況に照らして自転車の通行の安全を確保するためやむを得ない場合	●歩道と車道の区別がない場合は道路の右側端  ●歩道※1または路側帯※2  ※1 自転車通行指定部分はあるだけ避けて通行する ※2 歩行者の通行に十分な幅員（おおむね1m以上）がある路側帯
従う信号機	●信号機の表示に従う 	●自転車用の信号機の表示に従う  ●自転車用の信号機がない場合は、信号機の表示に従う 	●歩行者用の信号機の表示に従う  ●歩行者用の信号機がない場合は、信号機の表示に従う 
交差点での左折	●あらかじめ、できる限り道路の左側に寄って、さらに左側端に沿って徐行しなければならない 	●あらかじめ、できる限り道路の左側端に寄って、交差点の側端に沿って徐行しなければならない ●自転車用の信号機がある場合は、その信号機の表示に従って通行しなければならない 	●横断歩道がある場所の付近では、横断歩道を渡らなければならない  【交差点通行時の注意点】 ・歩行者用の信号機が青でも、横断する前に、右左折してくる車両がないか確認する ●斜めに道路を横断してはならない（斜め横断が可能なスクランブル交差点での横断を除く） 
交差点での右折	●あらかじめ、できる限り道路の中央に寄って、交差点の中心の直近の内側を徐行しなければならない ●原付(50cc以下)の場合、二段階右折の道路標識が設けられていれば、自転車と同様の方法で右折しなければならない 	●夜間※1 および暗い場所※2 では、ライトを点灯しなければならない ※1日の入りから日の出 ※2四輪車・二輪車の場合、視界50m以下（高速道路等では視界200m以下） 	●車両等の直前または直後で横断してはならない  ●道路標識によって横断が禁止されている道路の部分では横断してはならない 
主なルール	●酒気を帯びて運転してはならない  ●一時停止標識のある交差点では、停止線の直前で一時停止しなければならない  ●二輪車の運転者および同乗者はヘルメットを着用しなければならない  ●携帯電話を操作しながら運転してはならない ●二輪車は他の二輪車との並進をしてはならない ●原付(50cc以下)は二人乗りをしてはならない ●運転する時は、運転免許証を携帯しなければならない ●四輪車の運転者は、シートベルトを着用しなければならない また、同乗者もすべての席でシートベルトを着用しなければならない（6歳未満の子どもにはチャイルドシートを使用） 	●13歳未満の子どもの保護責任者は、子どもを自転車に乗せる時、ヘルメットをかぶせるように努めなければならない ●携帯電話の操作や傘を差しての片手運転をしてはならない  ●ヘッドホンやイヤホンを使用しながら運転をしてはならない※ ※都道府県公安委員会規則による禁止事項 ●他の自転車と並進してはならない ●二人乗りをしてはならない ●前輪および後輪にブレーキを備えていない自転車を運転してはならない 	●夜間外出時の注意点 ・夜間は目立つように反射材を着用することが望ましい 
その他	●薄暮時は早めにライトを点灯する		
事故時の責任	賠償責任 ●事故を起こすと運転者は刑事責任を問われるほかに、損害賠償という民事責任を問われることが多い。自転車の運転者も状況によっては刑事・民事の責任を負う。歩行者も自分に不注意があれば受け取れる賠償額が減ることがある。 行政責任 ●事故を起こすと点数がつけられ、累積点数の状況により運転免許の効力の停止や取消しの処分を受けることがある。		